

## 日本語とベトナム語の受身文の対照研究

Luu Ngan Tu Uyen

名古屋大学大学院人文学研究科

Lntuuyen@gmail.com

## 1. はじめに

本研究では日本語とベトナム語の受身表現を対照し、ベトナム人日本語学習者の受身文習得の困難点を示し、自動詞文と受身文の選択意識についての調査を行い、その使用傾向を明らかにする。これによりベトナム人日本語学習者の日本語教育に貢献することを目的とする。

## 2. 日本語とベトナム語の受け身表現の特徴

表1 日本語とベトナム語の受身表現の特徴

	日本語	ベトナム語
意味的特徴	能動文での動作の対象が文法的主語となる。基本的な意味は主語に立つものが他者の行為、他力によって何らかの作用や影響を受けることを表す。	
	利害の意味は主語に立つものが動作の影響をどのように受け、どのように感じるかが重要である。	動作が被動者にとって利益なら“ <u>được</u> ”「得」構文を、被害なら“ <u>bị</u> ”「被」構文を使う。利益か被害かはっきりしないと受身文が作れない。
	(1) 彼は先生に学校のルールについて注意された。	(1) a. Anh ta <u>được</u> thầy nhắc nhở về 彼 得 先生 注意する について nội quy nhà trường. ルール 学校 b. Anh ta <u>bị</u> thầy nhắc nhở về 彼 被 先生 注意する について nội quy nhà trường. ルール 学校
形態的特徴	動詞が受身を表す形態「られる」を付ける	語形変化がないので、“ <u>bị</u> ”または“ <u>được</u> ”助動詞を使って違う形式で表される

### 3. 日本語の受身とベトナム語の相応する表現

#### 3.1 日本語の直接受身

直接受身文は日本語とベトナム語はほぼ一緒の構造である。ベトナム語の受身文は(1)のように、能動文の目的語を直接受身文の主語に移動させ、受身文形態素、動作主、動詞は順番にくる。

(2) *Bức thư này được Tom viết cho Merry*

手紙 この 得 トム 書く へ メーリ

(\*) (この手紙はトムにメーリへ書かれた)

元のベトナム語の文と意味合いが少し違うが、日本語では「この手紙はメーリのためにトムによって書かれた」とはまだ言えるが、「へ」格では不自然な文になるので、日本語の受身文を導入する際、格助詞の指導もすることを提案する。

#### 3.2 日本語の間接受身

##### 持主の受身

谷守(1999)は日本語・ベトナム語・タイ語の受身表現を比較し、三言語間の受身文比較では間接受身文を中心とし比較を行った。持主の受身の場合では「XガYニZヲ〜サレル」におけるZに注目し、文法性を分析した上にZがXの身体的に不離の部分、身につけている物、Xと分離容易な持ち物または抽象的なものであっても表現可能で持主の受身とみなすと述べている。

(3) 花子は太郎にノートを破られた。

*Ha na kô bị Taro xe vỡ.*

(4) 花子は太郎に音楽の才能を求められた。

*Ha na kô được Ta rô công nhận tài năng âm nhạc.*

「ただし、述語動詞によっては許容度が下がる場合も有り得る」とも谷守(1999)が指摘している。

##### 自動詞受身

自動詞受身の場合、谷守(1999)は「ベトナム語ではすべての自動詞というわけではなくとも表現可能なものがあるのは興味深い」と述べている。しかし、谷守(1999)による日本語の自動詞受身文に対応するベトナム語の受身文はベトナム語では実際に言うか言わないか、ベトナム母語話者13人に調査したところ、表2のような調査結果が得られた。

多くの被験者は不自然であると答え、文を直してもらったらそのほとんどを能動文に直した。この結果からベトナム語では自動詞の受身表現は不自然であり、能動文を使う傾向があることが明らかになった。

表2 筆者の調査結果

例文	自然	どちらか という 不自然	不自然	直した文 (人数)
太郎は奥さんに死なれた。 Taro bị chết vợ	0	2	11	太郎の奥さんは死んだ。 (13)
太郎は花子に離婚された。 Taro đột nhiên bị Hanako li hôn	2	5	2	花子は突然太郎と離婚した。(4) 花子は太郎と離婚した。(3) 太郎と花子は離婚した。(1)
太郎は突然花子に来られた。 Taro đột nhiên bị Hanako tới nhà.	3	6	3	花子は突然花子の家に来た。(5) “được”構文に直した (5)
花子は太郎に逃げられた。 Hanako bị Taro chuồn mất	1	1	11	太郎は花子から逃げた。(4) 太郎はに花子から消えてきた。(1) 花子は太郎に逃げさせた。(放任) 意味が分らないので、直せない。(5)
昨日先生に来られた。 Tôi qua tôi được thầy giáo tới nhà	9	2	0	昨日、先生はうちに来た。(2)

ベトナム人日本語学習者 8 人 (N1, N2 合格者) を対象とし調査をし、(a) 「彼は奥さんが死んだ」、(b) 「彼の奥さんが死んだ」、(c) 「彼は奥さんに死なれた」の中から正しいものを選んでもらったら、5 人は (b) を、1 人は (a) と (b) を選んで、2 人しか (c) を選ばなかった。

#### ベトナム語の受身文の動作主の特徴

##### ◆ 他動詞をとって動作主になるベトナム語の受身文

- (5) Tôi không chú ý bị cánh cửa đập vào đầu.  
私 ない 注意 被 ドア 打つ 前置詞 頭  
(\*私は不注意でドアに頭を打たれた)

##### ◆ 無生物が自動詞をとって動作主になるベトナム語の受身文

- (6) Tôi bị chậu cây rơi trúng đầu  
私 被 植木鉢 落ちる あたる 頭  
(\*私は植木鉢に落ちられる)

上記の 2 つの文はベトナム語では受身で表されるが、日本語では自動詞を使うほうが自然である。

(7) 不注意でドアにぶつかった。

(8) 落ちて来た植木鉢が頭に当たった。

以上のベトナム人日本語学習者 8 人に調査して、(a)「石に突然落ちてきて痛かった」と (b)「石に突然落ちられて痛かった」と、正しいものを選んでもらったら、3 人は (a) を、5 人は (b) を選んだ。

母語はベトナム人日本語学習者の自動詞受身の学習に強い影響を与えることが見られる。

#### 4. ベトナム語の受身文と日本語の自動詞・受身文

ほとんどの日本語の有対自動詞文はベトナム語で受身文に対応する。つまり他動詞の前に “được” または “bị” をつけて受身文にする必要がある。

日本語	ベトナム語
写真はみつかった	Bức ảnh đã <u>được</u> tìm thấy
写真はみつけられた	Bức ảnh đã <u>được</u> tìm thấy
犯人が捕まった	Tên tội phạm đã <u>bị</u> bắt
犯人が捕まえられた	Tên tội phạm đã <u>bị</u> bắt

このことがベトナム人日本語学習者における自動詞表現・受身表現の選択意識に大きな影響を与え、日本人が自動詞を使う場面でベトナム人学習者が受身を使ってしまうという状況を生み出している。ベトナム語受け身の特徴を踏み込みながら杉村 (2015)、曾ワンティン (2012) を参考にし、ベトナム人日本語学習者を対象としてアンケートを実施し、ベトナム人学習者における自動詞表現・受身表現の選択意識について考察し、使用傾向を明らかにしたいと考える。次のアンケートでベトナム人日本語学習者 20 人を対象にして予備調査を実施する予定である。

#### 参考文献

- 谷守正寛 (1999) 「日本語・ベトナム語・タイ語の受身対照比較 - 間接受身文を中心に -」『鳥取大学教育地域科学部紀要. 教育・人文科学』鳥取大学教育地域科学部、第 1 巻 1 号、pp. 293-302
- 杉村 泰 (2015) 「日本語を母語とする中国語学習者における中国語の自動詞表現・他動詞表現・受身表現の選択について - 非人為的事態の場合 -」、『名古屋大学言語文化論集』 第 36 巻 第 1 号、(名古屋大学大学院国際言語文化研究科)、pp. 31-45
- 曾ワンティン (2012) 『中国語母語話者における有対他動詞の受身表現と自動詞の使い分けについて』名古屋大学修士学位論文